

# 錦城を担う5人決定



速報版

錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2019

311号  
生徒会選挙特別号

これからの錦城の  
代表者を決める  
生徒会選挙が  
行われました

## 決選投票はわずか54票差

11月6日(水)の6時間目、第一体育館で生徒会立候補者6名による立会演説会が行われ、その後全校生徒が投票を行った。また、昨年に引き続き実際の選挙で使われている投票箱を小平市からお借りした。



未来のために、それぞれの熱い思いを語る立候補者たち

(編集部共同取材)

### 今回の立候補者

- ①生徒会長候補 橘颯太郎くん(2A) 信任票数：1326票
  - ②生徒会副会長候補 中村心咲さん(1H) 信任票数：704票(当)
  - ③生徒会副会長候補 木村征太郎くん(1K) 信任票数：650票
  - ④監査委員長候補 岡崎翔也くん(2B) 信任票数：1336票
  - ⑤監査副委員長候補 大久保摩美さん(1A) 信任票数：1312票
  - ⑥錦城祭実行委員長候補 渡邊沙羅さん(1D) 信任票数：1313票
- 有効票数：1354票

### より良い錦城を目指し演説

① 要点を掴んだ分かりやすい演説をしていた生徒会長候補の橘くん。

公約として、意見箱で最も多い要望であった制服の改革に加え、生徒会活動の積極的な発信、意見箱の制度改善の3つを掲げた。特に、制服について「毎日皆さんが着ているも



実際に使われている投票箱に投票

のなので、出来る限り快適であることが必要です」と改革の重要性を語る。最後に橘くんは、常に生徒達からの声を大切に活動していくことを約束した。

② 生徒会副会長候補の中村さんは、立候補の理由を「全員がより楽しく学校に通えるようにしたい」と思ったからです」と話す。公約は「セブン自販機」の導入と、制服の改善。セブン自販機とは、セブンのレプンの食品を扱う自販機のことだ。中村さんは、学校が負担するのは電気代だけという点、生徒はいつでも購入ができるという点をアピール。「寄せられた意見に、より貢献していきます」と締めた。

③ 「この学校、硬すぎると思

いませんか？」と生徒に問いかけたのは副会長候補の木村くん。今の錦城は、生徒の思いよりも学校の伝統を重んじていると批判した。

木村くんは就任後に取り組みたいこととして、スマホの使用認可、制服の変更、登下校時のローファアの任意化の3つを挙げる。「決められたことに従うのではなく、自分たちの手で錦城を変えましょう」と方針を語った。

④ 監査委員長に立候補した岡崎くんは「広報活動の活性化」を強く主張した。1つ目の公約として掲げたのは、予算会議の結果や決算の基準を生徒総会が行われる前に生徒へ説明すること。また2つ目の公約として、中央委員会で行われている議論内容をSNSや生徒会報で発信することを挙げた。最後に岡崎くんは「生徒自身が学校をより良くしていける環境を作りまします」と意気込んだ。

⑤ 錦城をより良くするため



選挙の重要性を語る 脇本さん(右)

の1人として貢献したいと立候補の理由を語る監査副委員長候補の大久保さん。当選した際には予算管理をミスなくこなすことと、分かりやすい決算報告をすることを挙げた。「予算がどのように使われたのか生徒にしっかりと伝えていきたいです」と抱負を口にした。

また、生徒会への意見は少しでも多く反映したいと述べ「公約を実現したら、生徒は

本夏樹さんは、選挙に対する姿勢として「これからも自分の立場に自信をもって、選挙に参加することを大切にしてほしいです」と錦城生にメッセージを送った。

### 意志を持って選挙に臨んで

昨年に引き続き今年度の生徒会選挙でも、小平市役所から実際の選挙で使われる投票箱を借りて投票を行った。投票箱を貸してくださった小平市選挙管理委員会事務局の脇